

認定権者記載欄

認定権者記載欄		

様式第5-(イ)-①

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-①)

年 月 日

(あて先) さいたま市長

(申請者)

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

印

電話番号

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり _____ (注2) が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

(表)

※表には営んでいる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載(当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

売上高等 $(B - A) \div B \times 100$ 減少率 _____ %

A: 申込時点における最近3か月間の売上高等 _____ 円(注3)

B: Aの期間に対応する前年の3か月間の売上高等 _____ 円(注3)

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注2) _____ には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(注3) 企業全体の売上高等を記載。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

経 商 経 第 号
年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: _____ 年 月 日から _____ 年 月 日まで

さいたま市長 清水 勇 人

認定権者記載欄

様式第5-(イ)-②

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-②)

年 月 日

(あて先)さいたま市長

(申請者)

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

印

電話番号

私は、_____業(注2)を営んでいるが、下記のとおり

_____ (注3)が生じているため経営の安定に支障が生じておりますので、

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

売上高等 $(B - A) \div B \times 100$ 主たる業種の減少率 %

全体の減少率 %

A : 申込時点における最近3か月間の売上高等

主たる業種の売上高等 円

全体の売上高等 円

B : Aの期間に対応する前年の3か月間の売上高等

主たる業種の売上高等 円

全体の売上高等 円

(注1) 本様式は、主たる事業(最近1年間の売上高等が最も大きい事業)が属する業種(主たる業種)が指定業種である場合であって、主たる業種及び申請者全体の売上高等の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) _____には、主たる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。

(注3) _____には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

経 商 経 第 号
年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間： _____年 月 日から _____年 月 日まで

さいたま市長 清水 勇 人

認定権者記載欄

認定権者記載欄		

様式第5－（ロ）－①

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（ロ－①）

年 月 日

（あて先）さいたま市長

（申請者）

住 所

氏 名

（名称及び代表者の氏名）

印

電話番号

私は、表に記載する業を営んでいるが、裏面のとおり、主要原材料である原油及び石油製品（以下「原油等」という。）の価格が著しく上昇しているにもかかわらず、製品等価格の引上げが著しく困難であるため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

（表）

※ 表には営んでいる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載（当該業種は全て指定業種であることが必要）。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。
 ※ 原油等の仕入単価の上昇等の明細は裏面に記載。

（留意事項）

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

経 商 経 第 号
年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

（注） 本認定書の有効期間： 年 月 日から 年 月 日まで

さいたま市長 清 水 勇 人

（両面印刷すること）

様式5 - (口) - ② 原油等の仕入単価の上昇等の明細

① 原油等の仕入単価の上昇 (注3)		
$(E \div e) \times 100 - 100$	主たる業種に係る上昇率	%
	全体に係る上昇率	%
E : 原油等の最近1か月間における平均仕入れ単価		
主たる業種に係る平均仕入れ単価		円
全体に係る平均仕入れ単価		円
e : Eの期間に対応する前年1か月間の平均仕入れ単価		
主たる業種に係る平均仕入れ単価		円
全体に係る平均仕入れ単価		円
② 原油等が売上原価に占める割合 (注3)		
$(S \div C) \times 100$	主たる業種に係る依存率	%
	全体に係る依存率	%
C : 申込時点における最新の売上原価		
主たる業種に係る売上原価		円
全体に係る売上原価		円
S : Cの売上原価に対応する原油等の仕入価格		
主たる業種に係る仕入れ価格		円
全体に係る仕入れ価格		円
③ 製品等価格への転嫁の状況 (注4)		
$(A \div B) - (a \div b) = P$	主たる業種に係る転嫁の状況 P =	
	全体に係る転嫁の状況 P =	
A : 申込時点における最近3か月間の原油等の仕入価格		
主たる業種に係る仕入価格		円
全体に係る仕入価格		円
a : Aの期間に対応する前年3か月間の原油等の仕入価格		
主たる業種に係る仕入価格		円
全体に係る仕入価格		円
B : 申込時点における最近3か月間の売上高		
主たる業種に係る売上高		円
全体に係る売上高		円
b : Bの期間に対応する前年3か月間の売上高		
主たる業種に係る売上高		円
全体に係る売上高		円

(注1) 本様式は、主たる事業（最近1年間の売上高等が最も大きい事業）が属する業種（主たる業種）が指定業種である場合であって、主たる業種及び申請者全体の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) _____には、主たる事業が属する指定業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。

(注3) 主たる業種及び申請者全体の原油等の仕入単価、売上原価、原油等の仕入価格を記載。上昇率及び依存率が20%以上となっていること。

(注4) 主たる業種及び申請者全体の原油等の仕入価格、売上高を記載。P>0となっていること。

認定権者記載欄		

様式第5 - (ロ) - ③

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (ロ-③)

年 月 日

(あて先) さいたま市長

(申請者)

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

印

電話番号

私は、表に記載する業を営んでいるが、裏面のとおり、主要原材料である原油及び石油製品（以下「原油等」という。）の価格が著しく上昇しているにもかかわらず、製品等価格の引上げが著しく困難であるため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

(表)

- ※ 表には、指定業種であって、原油等の価格の上昇を製品等の価格に転嫁できていない事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。
- ※ 原油等の仕入単価の上昇等の明細は裏面に記載。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込を行うことが必要です。

経 商 経 第 号
年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間： 年 月 日から 年 月 日まで

さいたま市長 清 水 勇 人

(両面印刷すること)

